

# 令和5年第4回教育委員会会議録

(要点筆記)

開催日 令和5年2月28日(火)

開催場所 名寄市北国博物館 2階講堂

## 教育長及び教育委員

教育長 岸 小夜子  
委員 松田 潤子  
委員 高橋 雅樹  
委員 中枝 範子  
委員 梅野 新

## 教育委員会事務局・その他機関の長等説明員

教育部長	木村 睦
学校教育課長	池田 俊一
参事(特命課題担当)	土井 涉
参事(指導主事)	馬場 泰栄
生涯学習課長	佐々木 憲一
生涯学習課主幹	白井 薫
智恵文公民館長	吉田 清人
参事(風連生涯学習担当)	小笠原 弘
名寄市児童センター館長	柴野 武志
北国博物館長	金田 卓浩
図書館長	新田 博之
天文台長	村上 恭彦
学校給食センター所長	鷺見 良子(欠席)
学校教育課総務係長	石倉 あゆ美

傍聴人 0名

開 会 午後3時00分

## 会議録署名委員の指名

高橋委員

別紙のとおり会議の顛末を記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名委員とともに署名する。

教育長

署名委員

## 会務報告 教育部長から、前回の教育委員会議以降本日までの会務を報告

### 教育行政報告

教育長より教育行政について報告

#### 1 研修への参加について

- ・第75回優良公民館表彰において、名寄市民文化センターがオンラインを活用した取組が評価され、2/3に文部科学省で表彰式があり、午後から、「地域とともにある学校づくり推進フォーラム2022アワード・全国公民館研究フォーラム」がオンラインで開催された。また、2/15には、北海道の高校を対象とした「地学協働活動推進実証事業」の推進校等の発表である「北海道CLASSプロジェクト地学協働活動推進フォーラム」にこちらもオンライン開催され、両フォーラムへ参加した。いずれのフォーラムの発表においても、コーディネーターがキーパーソンであり、公民館館長、町議会議員など、地域において、熱意をもって積極的に人と人をつなげる方が、学校と地域の懸け橋となって、活動を活性化していた。

#### 2 スペシャルオリンピックス日本2023年第3回北海道・東北大会等について

- ・2/4には知的障害者が参加するスペシャルオリンピックスの北海道・東北大会がピヤシリスキー場と健康の森で開催された。来年2月には、名寄市でアルペンやクロカンなどに関する全国大会が開催されることとなっている。

#### 3 「名寄市ふるさと未来トーク」について

- ・2/7の名寄市ふるさと未来トークは、風連中央小学校で行われ、第6学年の児童が総合的な学習の時間で学習した「こんな名寄市になってほしい」という提案を5グループに分かれて行った。斬新なアイデアが次々に出され、市長からも街づくりのヒントになるということで、お褒めの言葉をいただき、子供たちにとっても市長の前でプレゼンテーションができたことが自信になり、よい思い出になったようだ。

#### 4 令和5年度当初人事に係る教育長協議について

- ・2/10に2回目の「令和5年度当初人事に係る教育長協議」が上川合同庁舎で開催された。

#### 5 名寄市特別支援学級「卒業・進級・進学を祝う会」について

- ・2/13に「名寄心と手をつなぐ育成会」主催で、市内小・中学校の特別支援学級の児童生徒が全員集合して、学校ごとに学習の成果を発表した。歌あり、ダンスあり、お芝居ありと、各学校で趣向を凝らした発表が行われた。

#### 6 2月の校長会議、教頭会議について

- ・2/24名寄庁舎3階会議室にて開催。
- ・新年度からの人事異動について、引継ぎを丁寧に行うこと、そうしたことを転出する教職員にも指導すること、また、転出入事務について窓口を決めて、気持ちよく送り出し、温かく迎えることなどを指導した。
- ・新年度に実施される全国学力調査や体力調査は、これまで、特に今年度の取組の結果が表れる。その学年で身に付けさせておく必要のある学習内容については、あきらめることなく身に付けさせる努力をすることを依頼した。
- ・学校を休みがちな不登校児童生徒とその保護者に対しては、一人一人に応じて、新年度に希望がもてるような対応をしておくよう指導した。

## 報告事項

報告第1号 令和5年度教育行政執行方針について

〔教育長〕令和5年度教育行政執行方針の重点施策について説明。

連絡事項等は省略

閉 会 午後5時00分